

**動物実験計画書で申請した実験実施期間が終了した場合に提出する報告書です。  
期日が切れた時点で速やかに提出下さい。**

日

徳島

\*受付番号

動物実験責任者氏名	内線	所属部局：  八重																								
報告する動物実験計画書の番号・責任者・所属・分野・職名・期間・実験題目及び報告日等 記入																										
実験題目																										
実験成果の概要 不開示情報の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (選択項目に☑) 「実験目的、結果、成果」について平易かつ可能な限り詳細に記述する。 研究上のプライオリティや特許等の知的財産権等の保護のために、守秘義務を希望する事項は下線を引く。ただし、項目全体ではなく研究のキーワードにとどめること。																										
不開示情報と判断される語句を下線で示すこと。 不開示情報「有」の場合、判断理由を記入。判断される語句に下線する。																										
業績等 (予定を含む) 無い場合は、「無し」と記入。 学会発表、論文発表、特許出願等があれば可能な範囲で列挙する。																										
動物実験終了時の動物の有無 計画終了時に動物が残存しているかどうかを記入する。「動物の有無」には、すべての動物が計画終了時に安楽死処置されている場合は、「無」とする。 まだ動物が生存している場合は「有」としてその理由を記入する。 例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・別の研究目的の動物実験に継承した（実験題目・承認番号を記入する）</li> <li>・終生飼育にする</li> <li>・他の機関に譲渡する（予定日を記入する）</li> <li>・凍結胚での系統保存が確認され次第、安楽死させる（予定日を記入する）</li> </ul>																										
本年度に動物実験の実施状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">3Rに則って適正に行われたか</td> <td style="width: 10%;">動物の選択</td> <td colspan="2" style="width: 80%;">利用した動物種は適正であったか 主な動物を適正に用いたか</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>動物数の削減</td> <td colspan="2">当該動物実験を実施した際に3Rに則って適正に行われたかを検証する。 該当する項目にチェックを入れ、不適の場合はその理由を記入</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>動物の苦痛 軽減安楽死</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 適      &lt;「不適」を選択した場合、詳細記入&gt;  <input type="checkbox"/> 不適       </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			3Rに則って適正に行われたか	動物の選択	利用した動物種は適正であったか 主な動物を適正に用いたか							動物数の削減	当該動物実験を実施した際に3Rに則って適正に行われたかを検証する。 該当する項目にチェックを入れ、不適の場合はその理由を記入							動物の苦痛 軽減安楽死	<input type="checkbox"/> 適      <「不適」を選択した場合、詳細記入> <input type="checkbox"/> 不適					
3Rに則って適正に行われたか	動物の選択	利用した動物種は適正であったか 主な動物を適正に用いたか																								
	動物数の削減	当該動物実験を実施した際に3Rに則って適正に行われたかを検証する。 該当する項目にチェックを入れ、不適の場合はその理由を記入																								
	動物の苦痛 軽減安楽死	<input type="checkbox"/> 適      <「不適」を選択した場合、詳細記入> <input type="checkbox"/> 不適																								
施設等の利用 施設等の利用：動物飼養施設および動物実験室・飼育室を適正に利用したかを検証。 該当する項目にチェックを入れ、不適の場合はその理由を記入する。																										
事故の発生    : 当該動物実験中に事故が発生の有無を記入。 発生した場合は「有」にチェックし、具体的な内容を記入。																										
その他        : その他特記事項がある場合は具体的に記入。無いの場合は「無し」と記入。																										
その他																										

自己点検項目

点 檢 項 目		点検結果	備 考
1	実験は計画書に記載した場所で実施したか。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2	<u>げっ歯類以外</u> の動物の大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は専用の手術室で実施したか。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	
3	<u>げっ歯類以外</u> の動物の大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は無菌的に実施したか。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	
4	<u>侵襲性の高い大規模存命手術</u> （開胸術、開腹術、開頭術など）は十分な知識と経験を有する者、あるいはその指導下で実施したか。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	
5	麻醉および鎮痛剤の種類を記入	<input type="checkbox"/> Yes/鎮痛・麻酔薬名を記入	
6	存命手術の際に野放すか。		
7	苦痛度を記入	本年度に報告する動物実験計画書に基づく実験について、各項目で該当箇所どちらか一方ににチェック 項目5、項目8、項目10に関しては、「Yes」にチェックの場合、備考に具体的な名称の記入が必須  注意！：項目2、3はげっ歯類以外です。 扱っていない場合は「該当せず」にチェック下さい	
8	計画書		法を記入
9	実験目的以外の動物の傷害や疾病が発生した場合、適正な治療、措置（安楽死も含む）を実施したか。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	
10	動物実験に際して、動物に起因する人の傷害や疾病（アレルギーを含む）の罹患はあったか。	<input type="checkbox"/> Yes/傷害・疾病名を記入  <input type="checkbox"/> No	

- 各項目で No をチェックした場合は、備考欄に理由を記入すること
- 項目5, 8, 10でYesをチェックした場合は、備考欄に具体的な名称等を記入すること。

\* 委員会等使用欄

学長受領欄	本報告書を受領した。		
	受 領 日 :	(西暦) 年 月 日	
	受領番号 :	号	徳 島 大 学 長

\*印は記入しないこと。